

フォスターユースが語る『自立支援』

日時：9月10日（土）

午後1時開場 1時半から4時まで

会場：二葉保育園ホール

[東京都新宿区南元町4 ◎ アクセスは裏面をご覧ください]

参加費：一般 2000円 学生 500円

フォスターユース [施設・里親家庭出身で29才以下の方]は無料です。

定員：100名

申し込みURL <http://kokucheese.com/event/index/415945/>

**日本とアメリカの社会的養護の当事者による
プログラム**

- 日本ユースたちが渡米して持ち帰ったもの
- アメリカのフォスターケアの現状とアドボカシー活動
- ユースと支援者：パートナーシップの重要性
- 自立支援システムの日米比較
- IFCAユース・プロジェクトが指すもの
- 社会的養護を理解するための会場の皆さまとの
アクティビティ

◎ 日米ユースと児童福祉関係者による
パネルディスカッション

[英語発表部分は逐次通訳]

◎ 主催

U.S.-Japan Council TOMODACHI Initiative
International Foster Care Alliance [IFCA]

◎ 協力

社会福祉法人 二葉保育園

TOMODACHI フォスターユース・リーダーシップ・プログラムによる 東京での第3回目のユースサミット

IFCA Seattle Office

6542 4th Ave. NW
Seattle, WA, 98117, USA
1-888-447-IFCA [4322]

IFCA 東京オフィス

〒151-0063
東京都渋谷区富ヶ谷1-33-6-202

メールアドレス

info@ifcasseattle.org

ホームページ

www.ifcasseattle.org

ごあいさつ

日本では、家庭の外で過ごさざるを得ない子ども達、つまり、行政に保護され施設や里親家庭（Foster Care）で育つ子ども達は、約4万5千人に上ります。児童虐待による日本の社会的損失は約1.5兆円と試算され、子どもたちへの心的ケアや自立支援プログラムも十分とは言えない現状です。

米国NPO法人IFCAは、フォスターケアのもとで育った10代20代の若者たちによるユースチームを東京とシアトルで結成。互いの国を訪れながら、フォスターケアの経験を語り、リーダーシップについて教えるワークショップを開催し、ユースの地位向上やより良い児童福祉のために活動しています。

ご来場の皆様へ

今回、シアトルチームの来日に合わせて開催する、3度目のユースサミットです。これから自立を迎える若者にとっては、様々な経験をした先輩に会える場です。自立を控えたユース、児童福祉関係者の皆様、ぜひ、ふるってご参加ください。

◎二葉保育園へのアクセス

住所

〒106-0012 東京都新宿区南元町4

交通機関

信濃町駅から徒歩7分
四谷駅から徒歩12分

地図

<http://hutaba-nangen.jp/publics/index/7/>

◎このイベントは、二葉保育園の皆様のご尽力によって実現するはこびになりました。ご協力に心から感謝いたします。

2015年の
ユースサミット
についての記事
[読売新聞]



日米の若者が参加し、体験談などを披露した（新宿区の二葉保育園で）

「里親」施設「自ら語る」

日米の若者8人新宿で

虐待や貧困などにより、施設や里親家庭で育った日米の若者が、同じ境遇で育つ子供の問題について考えるイベント「日米ユースサミット」が6日、新宿区の二葉保育園で開催された。児童福祉の向上に向け、当事者の発信を行う米国のユースチームが、米国の里親家庭で育ったバレイ・スケルトンさん（22）は「子供の気持ちを理解できる大人の存在が最も大切」と話し、高校時代を児童養護施設で過ごした国際基督教大学2年の佐藤智洋さん（20）は「かわいそう」と思われるのが嫌だった。施設や里親家庭のことを広く知ってもらい、一面的なイメージを変えていきたい」と話していた。



日米ユース

山之内歩・佐藤智洋・高橋武樹・沼田裕佳子・中原佑介・ダニエル ルゴ・エレナ ジョーンズ・ジャネル ブラクストン・アリッサ ニューマン・タリア ガルシア・マイケル アダムス・サポータフ・アダルト

筒井保治・松本幸加・阿部京美・永野咲

通訳

三輪知子・栗津美穂